

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）
突然の説明困難な小児死亡事例に関する登録・検証システムの確立に向けた
実現可能性の検証に関する研究
（主任研究者 溝口 史剛）

分担研究 小児死亡発生時の警察医からの情報収集に関するあり方に関する研究

「警察医に関する最近の動き - 特に、日本医師会警察医活動と乳幼児虐待死について - 」

分担研究者 小林 博 日本医師会、岐阜県医師会

研究要旨

本邦の小児死亡はそのほとんどが病院で死亡確認がなされているが、一方で少数ながら、病院外で死亡する小児事例も存在する。検案・検視の段階で司法解剖とならなかった事例は、臨床医と法医の連携だけでも把握しえない。法制化前に、地域における小児死亡の全数把握をするためには、検案を行う警察医との連携は不可欠である。

現時点での警察医の活動実態につき、CDRの実施の中心となる勤務医はほとんど把握していない。また、開業医を中心として組織された「日本警察医会」は、平成25年度末をもって解散し、平成26年度より日本医師会主導の新しい警察医活動に託すこととなるなど、近年変革にさらされている。

本年度の研究では、現時点の「警察医」に関する動向につきまとめた。日本医師会の第139回日医臨時代議員会において、乳幼児及び学童の諸問題に対しても、重点課題の一つとして取り組む方向性も示されたことを付記しておく。

A. 研究目的

本邦において小児の死亡はほとんどの場合が、病院で最終的に迎えると推察されるが、院外死亡事例の発生に関しては、病院を通らずに、死体検案となる可能性もある。地域で小児の全死亡事例を網羅的に把握していくためには、警察医との連携体制を模索していく必要がある。

一方で、開業医を中心として組織された「日本警察医会」は、平成25年度末をもって解散し、平成26年度より日本医師会主導の新しい警察医活動に託すこととなるなど、近年変革にさらされている。

本年度の研究では、現時点の「警察医」に関する動向について整理し、次年度以降の研究に繋げていきたい。

B. 研究方法およびC. 研究結果

従来、日本医師会での「警察医（仮称）」に関する活動は公式にはほとんど記録がない。

一方、開業医を中心として組織された「日本警察医会」は、約20年間の各地域での「検視・検案活動」を核とした活動について、平成25年度末を以って発展的に解散し、平成26年度より日本医師会主導

の新しい警察医活動に託した。これに呼応した形で、前述の日本医師会としては、『警察医』という用語を含め、「日本医師会（以下、日医）が日本全体を取りまとめる組織作りについて中心的な役割を担っていく」といった方向性を表明し、まず、「警察活動等への協力業務検討委員会（仮称）」を発足させ、部会として「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」を一応立ち上げた。また、それぞれの名称については今後さらに正式名称を検討することとなった。

警察活動等への協力業務検討委員会（仮称）

平成 29 年 2 月 15 日、「警察活動等への協力業務検討委員会（仮称）」は、全国各ブロック代表を招集し、併せて内閣府・厚生労働省・警察庁・海上保安庁からのオブザーバーを含め 19 名の参加で開催された。

まず、「会の名称」から課題に挙げられた。前述の仮称からのスタートであったが、全国統一した組織に格上げするにはやはり簡潔かつその使命を明確にする必要があり、協議の結果「警察協力医会」とすることが提案され日医執行部に上程することとなった。もう一つ、その業務に関しては今後も時代変遷に即応するためにも「警察活動等への協力業務検討委員会」は仮称を取ってそのまま残すこととなった。

その業務についても再度検討したが、前回までの業務検討委員会では、

「警察・職員の健康管理に関する警察産業医」

*ただし、警察官等職員には「労働衛生安全法」は適応外とされてい

るため「産業医」との呼称は「健康管理医」と変更される予定である。

「留置人健康管理」

「刑事課、交通課にかかわる死体検案検視業務」

「強制採血・採尿、法医鑑定等事件対応」

と整理したが、今回の検討会では、「虐待事件」、「DV 事案」、「心中事例」、「ストーカー対応」等のマスコミ報道等で問題化しつつある社会現象にも対応可能な体制として、「その他」を追加した。

これをもって、一応「名称」と「業務内容」を明確化することにより、今後都道府県医師会で結成されることになる「警察活動に協力する医師の会組織」への情報・周知がより徹底されることになった。

残る課題としては警察活動に関連する医療業務に携わる実態として、「身分保障」、「誰が、どのような基準で、期間は、報酬は」といった委託任命状況がまったく不均一・不透明であることが挙げられ、究極的目標として「全国の都道府県医師会・地区医師会での警察医活動均一化」への大きな障壁となっていることの解決であり、これにはまず全国実情調査が喫緊に必要なってきている。

小児死亡例に関する登録・検証システムに関する研究

こうした警察協力医と関連性のある会議として、厚生労働科学研究費補助金・健やか次世代育成総合研究事業「小児死亡例に関する登録・検証システムの確立に向けた実現可能性の検証に関する研究」のチーム

の一委員として日医に参加要請があり、会長より推薦指名され出席した。

1月29日、そのシンポジウム「防げる死から子どもを守るために～虐待死の検証からすべての子どもの死の検証へ～」では、「子どもの虐待死ゼロを目指して」、「虐待死検証効果と限界」、「子どもの死亡を検証し、予防可能な死亡を減らすために」等が検証された。具体的には、虐待死などの痛ましい事例を防止することは国家の重大かつ重要な施策となってきたなか、残念ながら「検証対象の不一致、不均一な状態である」ことは余り改善されていないといった実態が明らかになってきた。

そのような背景のなか、日本小児科学会の「子ども死亡登録検証委員会」による国内4地域でのパイロット研究では「5歳未満の死亡事例の6人に1人の子どもの死因が不明である」ことが示された。そして、当然ながらそのなかで「乳幼児虐待死」がどれくらいあったのかも不明であるという。

そこで本シンポジウムでは、実際現場においては死亡事例を全体的に把握するためには救急医療・周産期医療・警察検案医等を統括したシステムと法的整備が不可欠であると再確認したあと、同時に、死亡診断書・検案書を作成するのはあくまでも医師であり（一部、歯科医師も可能であるが）、剖検やAiに関する知識・情報には一般臨床医も学習・研修がさらに求められていることを提唱した。

日本医師会の乳幼児及び学童の諸問題に対する取り組み

3月26日開催の第139回日医臨時代議員会において、代表質問として岐阜県医師

会・矢嶋先生が「日医の乳幼児及び学童の諸問題に対する取り組みについて」と題して日医の基本的考え方・具体的活動を尋ねた。いま、少子化時代にあって次の日本を背負って立つべき宝としての乳幼児・学童への医療的支援は今のままで十分であるかどうかを我々は危惧しているなか、特に、「乳幼児虐待」に関しては産婦人科・小児科といった医療分野だけでは解消することができない問題であり、そこには市町村行政・児童相談所、さらには警察関係も含めた総合的な連携が必要になってくるとした社会全体の課題であると述べた。

日医からは横倉会長答弁として「日医警察活動協力医会での審議」及び「小児死亡事例に関する登録・検証システムの確立に向けた実現可能性の検証に関する研究」への積極的参加等検討していきたいとの発言があった。

小児死亡例についての詳細はほとんど検証されていなかったが、この質問・回答を見る限り、日医もその必要性を認め協力姿勢として「日医警察活動協力医会」を担当させるようである。

D. 考察、および E. 結語

以上、スタートしたばかりの「日医での警察協力医に関する最近の動き」を報告した。特に、「小児死亡例のなかでの虐待に関して」は日医としては全国統一・均一化した組織的活動に関しては実績が残っていないのが現状であるが、死亡診断書・検案書を作成するのはあくまでも医師であり（一部、歯科医師も可能であるが）、乳幼児死亡事例を全体的に把握するためには救急医療・周産期医療・開業医と地域医師会・警察検案医等さらに児童相談所をも統

括したシステムと法的整備が不可欠であることを強調したい。

最近、警察協力医活動のなかでも最も厳しい状況・環境にある「死体検案・検視」に関する情報として、大阪府において昨年10月突如として「監察医制度廃止」がマスコミ報道された。死因究明制度の推進がますます必要・重要となってきたなか、この情報には大いなる問題を抱えることになった。わが国での歴史的にも多種多彩な経緯を持つ検案医については、その基本的考え方について私見として、「その生命の誕生に関しては産科学・小児科学等真摯に学術的理論・実践の確立を考え、努力を惜しまなかった。しかしながら、その生命の終焉に関しては宗教家・哲学者らに委ねることが多く、特に誰にも看取られることなく人生を終えた人に対しては主に警察業務であるとして、我々医師は非協力立場であることが多かった」と述べておきたい。

F．健康危険情報
該当なし

G．研究発表
論文発表
なし

学会・シンポジウム発表

1. 森崎菜穂：現時点で稼働している新生児の死亡登録制度「子どもの死亡を検証し、予防可能な死亡を減らすために防げる死から子どもを守るために」ワークショップ・シンポジウム, 厚生労働科学研究費補助金研究事業, 東京, 2017年1月

書籍発刊
なし

H．知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む)
なし